

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



南アフリカ






インドネシア



インド

市場概要・見通し（カナダ、ブラジル、メキシコ）

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		9/13 (9/6との比較)	9/13 (9/6との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
カナダ 	AAA	1.51% (+0.23)	81.36円 (+0.25%)	+1.6% 2019年2Q	1.75%	発表された住宅着工件数は市場予想を上回る内容。原油価格は下落したものの、欧州での利下げや米中貿易摩擦の緩和観測を契機として世界的にリスク許容度が高まる中、カナダドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	CPI（消費者物価指数）や小売売上高などが発表予定。債券・為替市場ともに、週明け急騰後の原油価格の動向や、FOMC（米連邦公開市場委員会）を受けた金利動向などの外部環境に大きく影響を受ける展開を予想。
	Aaa	→ 金利横ばい	→	→ 景気安定	→ 据え置き局面		
ブラジル 	BB-	6.41% (+0.05)	26.45円 (+0.50%)	+1.0% 2019年2Q	6.00%	発表された小売売上高は市場予想を上回る内容。これを受けて景気後退懸念が緩和したことや、世界的なリスク許容度の高まりなどを受け、レアルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	特に注目すべき経済指標の発表はなし。金融政策決定会合が予定されており、市場は0.5%の利下げを予想。ブラジル中銀の今後の政策姿勢に注目が集まる中、債券・為替市場ともに一進一退の展開を予想。
	Ba2	→ 金利横ばい	→	→ 景気安定	↓ 利下げ局面		
メキシコ 	A-	7.07% (+0.21)	5.57円 (+1.77%)	-0.8% 2019年2Q	8.00%	発表されたCPIは市場予想並みであった他、登録雇用創出合計は市場予想を上回る内容。米国政府高官が米国・カナダとの通商協定の比較的早期の合意について言及。メキシコペソは対円で上昇。国債利回りは上昇。	特に注目すべき経済指標の発表はなし。米国を中心とした各国中銀の金融政策スタンスや中東を中心とした地政学リスクへなどに注目が集まる中、債券・為替市場は一進一退の展開を予想。
	A3	→ 金利横ばい	↗	→ 景気安定	→ 据え置き局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		9/13 （9/6との比較） 今後の見通し （※4）	9/13 （9/6との比較） 今後の見通し （※5）	前年比 （※3） 景気の方向性 （※6）	先週末 方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	1.16% （+0.07）	74.37円 （+1.60%）	+1.4% 2018年4Q	1.00%	発表された企業景況感や企業信頼感、消費者信頼感指数はいずれも前回の結果を下回る内容。中国の信用拡大による景気下支え期待が高まる中、豪ドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	雇用統計や住宅価格指数などが発表予定。引き続き、米中を中心とした世界の景況感や、地政学リスクも含めたりリスク許容度の変動に影響を受けながら、債券・為替市場は一進一退となる展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
ニュージーランド 	AA+	1.32% （+0.17）	68.93円 （+0.54%）	+2.5% 2018年4Q	1.00%	発表された住宅売上高は前月比で伸びが鈍化する内容であった一方、製造業PMI（購買担当者景気指数）は前月比で改善する結果。市場のリスク許容度の高まりを受け、ニュージーランドドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	経常収支やGDP（国内総生産）などが発表予定。引き続き、オーストラリアと同様に世界的な景気動向や市場のリスク許容度の変化から目が離せない中、債券・為替市場は一進一退の展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
ノルウェー 	AAA	1.36% （+0.23）	12.03円 （+0.94%）	-0.7% 2019年2Q	1.25%	発表されたGDPは良好な結果となったものの、CPIやPPI（生産者物価指数）は前月に比べ悪化する内容。世界的な国債利回り上昇圧力を受け、国債利回りは上昇。ノルウェークローネは対円で上昇。	貿易収支などが発表予定。金融政策決定会合が予定されており、中銀が他国に比しややタカ派な姿勢となっている中、政策金利の行方に注目。債券・為替市場ともに一進一退の展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		9/13 （9/6との比較）	9/13 （9/6との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	7.26% （▲0.03）	7.42円 （+2.68%）	+0.9% 2019年2Q	6.50%	発表された企業景況感では前月を下回った一方、製造業生産および鉱物生産量は市場予想を上回る内容。市場のリスク許容度の高まりや大手格付会社の格下げの可能性低下もあり、ランドは対円で上昇。国債利回りは低下。	CPIや小売売上高などの発表の他、金融政策決定会合が予定。債券・為替市場については他の新興国と同様に、世界的なリスク許容度の変動に大きく影響を受ける展開を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気停滞	 利下げ局面		
インドネシア 	BBB-	6.61% （▲0.17）	0.77円 （+1.92%）	+5.1% 2018年4Q	5.50%	特に注目すべき経済指標の発表はなし。世界的にリスク許容度が上昇したものの、翌週の利下げを意識した動きとなり、国債利回りは低下。世界的な円安傾向を受け、インドネシアルピアは対円で上昇。	貿易収支や国内自動車販売などが発表予定。また金融政策決定会合を予定。市場では0.25%の利下げが織り込まれている中、中銀高官の発言に意識を向けながら債券・為替市場の適正水準を探る展開を予想。
	Baa2	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
インド 	BBB-	6.27% （+0.04）	1.52円 （+1.91%）	+5.0% 2019年2Q	5.40%	発表されたCPIは市場予想を下回った一方、鉱工業生産は市場予想を上回る内容。自動車セクターや不動産セクターへの景気刺激策に対する期待感が高まる中、国債利回りは上昇。インドルピアは対円で上昇。	卸売物価や経常収支などが発表予定。米国の金融政策にも注目が集まり、また政府による景気刺激策の具体化への期待が継続する中、債券・為替市場は一進一退の展開を予想。
	Baa2	 金利横ばい		 景気回復	 据え置き局面		

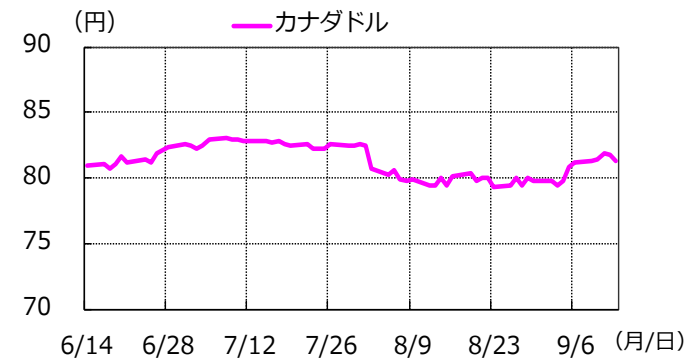
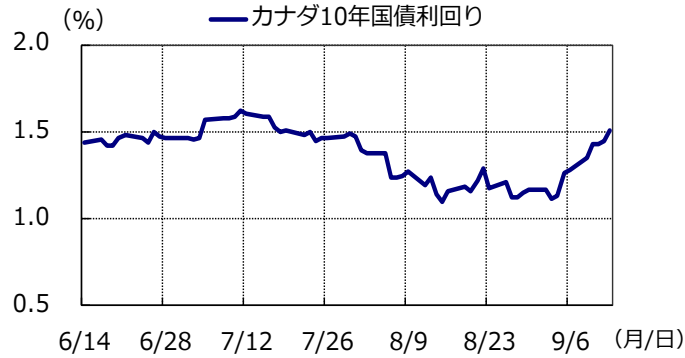
出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（南アフリカ：3年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。
- ※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

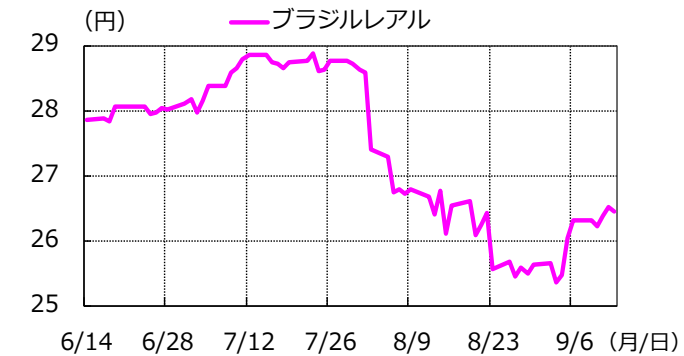
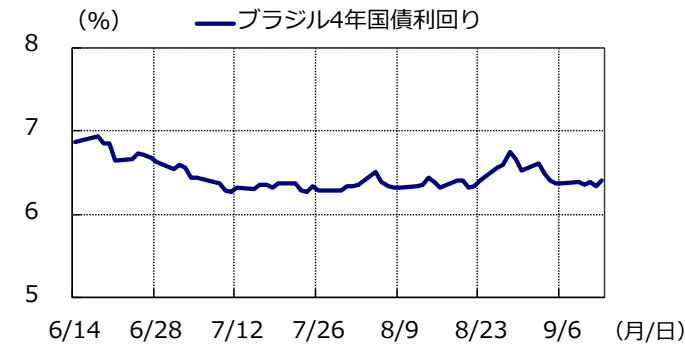
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/6/14～2019/9/13

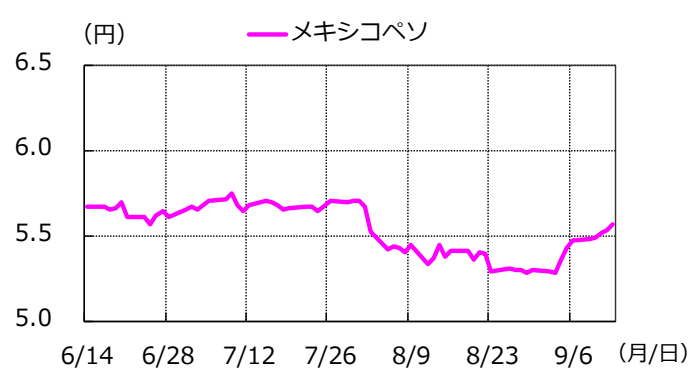
カナダ



ブラジル



メキシコ

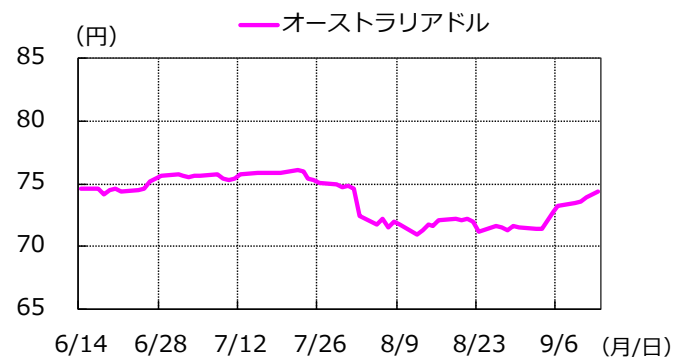


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

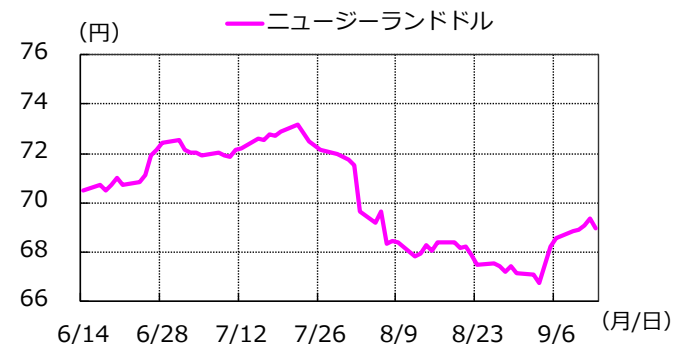
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/6/14～2019/9/13

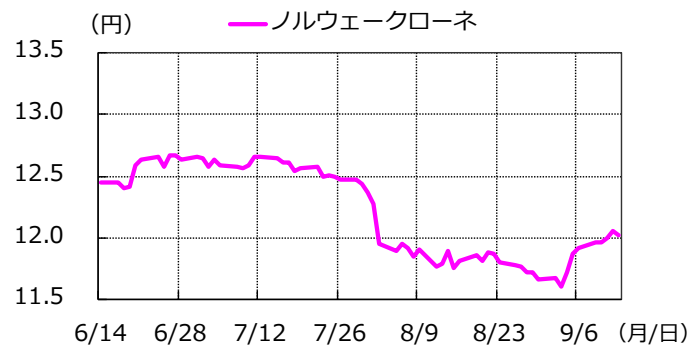
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

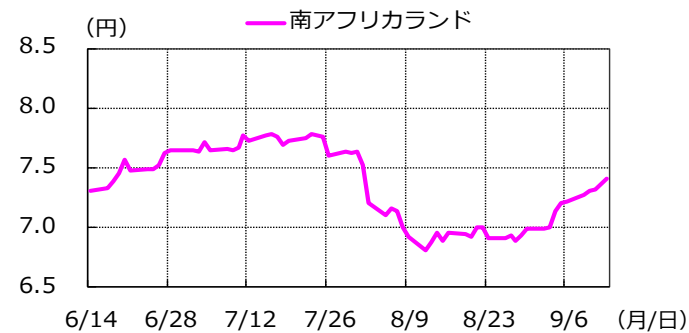


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

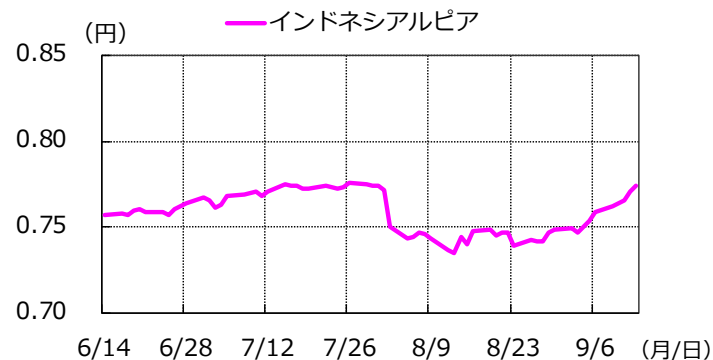
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/6/14～2019/9/13

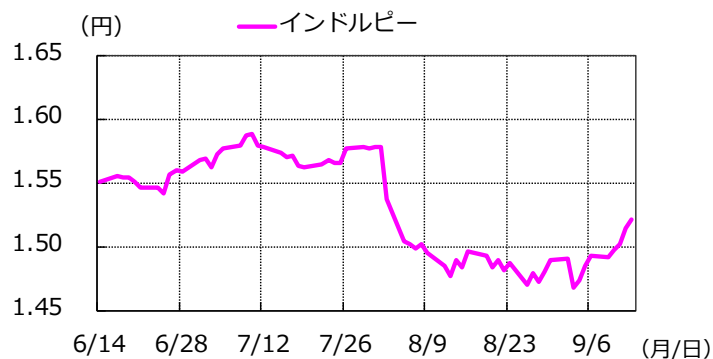
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

【ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%*（税込）

*消費税率が10%になった場合は、3.85%となります。

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.052%*（税込）

*消費税率が10%になった場合は、年率2.09%となります。

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。